

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—その前に—

NO. 58



毎年3月は、いろいろな人や場所での集大成があって、嬉しさと悲しさが入り交じります。春ならではの、ポカポカは嬉しいけれど、何だか収まりどころのない…だから眠くなるのでしょうか？ “終わりは次へのスタート” なのですが、夏や冬のお休みと違って、大人は切れ目のない時期で、なにかと忙しいですね。3月31日と4月1日との変化に、少しでも余裕を持ちたいものです。大きな予定（新しい場所やその内容等）は決まっていると思いますが、“その前にしておこうかな” と思うことがあれば、些細なことでも無理のない範囲で、手を付けておきたいものです。

“その前にしておいたほうがいいこと” の『その前』ですが、大小様々いろいろな場面があります。

食事の前に手を洗うこと。出かける前にトイレに行っておくこと。寝る前に歯磨きをすることといった生活の中で身に付けておきたい小さな『その前』がいちばん目の前にあるのかなと思います。次のことがスムーズにいくように。行った先で引き返すことのないように。習慣にしておくことで何かを予防できるように、日頃から気を付けていると思います。

出かける前に、始める前に、一日のスケジュールを知っておくのも『その前』ですね。スマホやPCから目に見える形での情報収集が、今は容易になっています。大人はそれで全体像が何となくつかめるのですが、子ども達は、もう少し手前からのことから知りたいはず。「誰と行くの？」 「誰がいるの？」 「家を出てからどうやって行くの？」 「何を持っていくの？」 などなど。やっぱり下見は基本です。「ここで引っ掛かりそう」「ここを活かそう」といった広がりが必要です。

もう少し大きな視野で見ると、そこにも『その前』があります。

手先が器用になっていくためには、その前に身体を大きく動かすことをたくさん経験することが大切です。お話ができるようになるその前に、わかることや、わかる言葉をたくさん増やしていくことが育ちを豊かにします。みんなと一緒に遊べるようになるために、身近な大人との一対一での向き合い、じゃれ合い、やりもらいを、たくさんしていくことが幹を太くします。これらは、今、目立って見えていることに比べれば、少し地味で、周囲の願いや思いとの温度差があるように思えるかもしれません。でも、安定した力を育てていくためには欠かせない『その前』です。

勉強もそうです。その授業が解かるように、できるようになってほしいと、そこに力を注ぎがちですが、『その前に』学んでおいたほうがよい土台があります。きっとそれは“生活に活かされる” 捉え方や考え方だと思います。（詳しくはお尋ねください）

そう考えると、何ごとも『その前に』しておくことが、とても役に立つことがわかります。とはいえ、もし「しておけばよかった～」と思うことがあったら…、それに気づいたことを良しとして、また一緒に考えていきましょう。

「3月は、もっと締めくくりを味わう季節じゃないですか？」と言われそうですね。あんずでの支援を重ね、子ども達やご家族と一緒に過ごしてきた中で、しみ込んできたことがあります。

終わりじゃない。どんな形であれ、次のステージも見守っていく。キミの歩みを少し知る者として、今後も役割を果たしていきたい。もちろん、お好みの濃さで。(R3. 3) K

